

TIME	内容
	<p><u>ナレーション：</u>                      私達の街 吹田市は2020年4月、市制施行80周年を迎えました。                      吹田市はこれまで高度経済成長期の急成長などを経ながら、先人の英知や努力のもと発展を続け、そして今、更なる飛躍を遂げようとしています。                      そこで今回は、吹田市のこれまでの歩みを振り返り、更なる未来に向け、吹田の魅力を再発見します。</p>
	<p><u>田村：</u>                      お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。                      さあ、今回は吹田市が80周年ということで、80周年特別記念回とさせていただきます。何をするかといいますと、吹田の80年の歴史を振り返っていこうということで、吹田がどういうことがあって80周年を迎えているのか、いろいろ知る良い機会ではないでしょうか。それでは、最後までお付き合いください。一緒にまいりましょう！</p> <p><u>ナレーション</u>                      まず田村さんが向かったのは？</p> <p><u>田村：</u>                      高浜神社の方へやって来ました。かつてはこの辺りが吹田の中心地だったということで、もともと市役所があった場所がこちらなんですよね。                      「吹田市制発足の地」ということで、旧吹田村、旧吹田町役場跡、旧吹田市役所跡ということで、ここで働いてはった皆さんがいろんなことを守ってくれたから今も我々が生活できてるということですから、有難いかぎりですよ。</p>
	<p><u>ナレーション：</u>                      ではここで、吹田市80年の歩みを振り返ってみましょう。                      まずは1940年代、吹田市が誕生した時は戦争真っただ中。                      旭通りでは防空演習が行われるなど、吹田市は戦争の混乱の中スタートしました。</p> <p>1950年代は発展への基礎作り。                      山田村と合併し今日の吹田市が形成されました。                      千里山田伊射奈岐神社の太鼓神輿は吹田市無形文化財に指定されています。</p> <p>1960年代は高度経済成長期。                      吹田と豊中にまたがる日本初の大規模ニュータウン「千里ニュータウン」も続々と街びらき。                      当時あこがれの的だったニュータウンで吹田の街が活気づいていきました。</p>

1970年、日本中が沸いた大阪万博が吹田で開催。  
77か国参加のもと、6400万人を超える来場者が会場を訪れました。

1980年代。人口増加に伴い都市整備を実施。  
市制45周年を記念し、市民待望の文化会館「メイシアター」が完成。  
市役所中層棟も完成しました。

1990年代、大阪モノレールが千里ニュータウンから南茨木まで開業。  
市制50周年、日本初のプロサッカー「Jリーグ」の開幕とビックイベントが  
続き、21世紀を前に吹田の街がますます活気づきました。

2000年代に入り、にぎわいと安心・安全、美しいまち創造を推進。  
環境マネジメントシステム国際規格を取得したほか、  
第一回「近畿の駅百選」に万博記念公園駅が選ばれたり  
ガンバ大阪がクラブ創設後初のタイトルを獲得するなど  
吹田に高質な街のイメージが定着してきました。

そして2010年代。  
JR 岸辺駅に南北自由通路が登場し、利便性が向上。  
エキスポランド跡地に大型複合施設「エキスポシティ」がオープンし  
多くの人々の関心を集めました。  
そして、国際規格を満たすサッカー専用スタジアム  
「パナソニックスタジアム吹田」、  
国立循環器病研究センターを核とする北大阪健康医療都市「健都」、  
新大阪や奈良へとつながる JR 南吹田駅がオープンするなど  
日本、そして世界にも通用する施設が吹田に誕生しました。

TIME	内容
	<p><u>ナレーション</u> 吹田市と同じ80歳のお三方の思い出話「80歳のカフェトーク」。</p> <p><u>松本さん</u> 山に囲まれてた住宅街がね、まあ、村言うようなもんですけど そういう状況の中での生活から大きく変わりましたね。</p> <p><u>ナレーション</u> 最初のお客様は松本宗成（まつもと むねしげ）さん 80歳 幼い頃から吹田に住み、山手地区の連合自治会長まで努めた人物です。</p> <p><u>松本さん</u> 小さい頃の話はね、面白いのは近所の子らいうたって2、3人しかおらんのですよ。 子供言うてもね。ほんで遊びの中の一つやけど、山いうても （家の）裏も前も横も山いうような、真ん中が住宅言うんかね、 竹藪も同じようにありましてね。傾斜になっているんやね、山やから。 傾斜でソリみたいなかたちで滑って遊ぶんです。竹を割ってね、2つ割って、 先頭のところを火で炙って曲げるんです。竹やぶの間は滑るんです。 なんでか言うたら、竹の葉っぱが一面に敷きならされているんですよ。 だから葉の上はよう滑るんですよ。そやからね、怪我せんように竹やぶに ぶつからんように滑らないかんけどね。 そらもう一つの遊びの中でね、思い出の一つですね。</p> <p>吹田の本当に変わったのは、まず名神、道路ができたでしょ。 それからニュータウン。それから鉄道で新御堂筋ができたでしょ。 もうあの開発というんかね、今おるところもニュータウンの一角ですけど、 ニュータウンが山やったからね。そやからそこが住宅になったから、 この変わりようはすごいですね。 昔は「山の中で生活しとった」そういう感覚から「都会になった。街になった」 という大きな変わりようがありますよね。</p> <p><u>森中さん</u> うーん。やっぱり自然が多かったですね。</p> <p><u>ナレーション</u> 2人目は 森中美紀（もりなか みのり）さん 80歳 現在の寿町生まれ。吹田市内での小学校中学区時代ではスポーツ少女でした</p>

TIME	内容
	<p><u>森中さん</u>                      私は第一小学校だったので浜田町って言ってたんですけど、今は寿町ですか、そこにおりまして、ほとんど学校の先生方のお世話で運動ばかりしてました。学校行って勉強よりもスポーツという感じだったのでね。中学校でも連合運動会とかよく行ってました。なんせ自然がすごかったですね、木やら田んぼやら。</p> <p>今の（大阪市立）弘済院ですか？ 古江台のあの辺は山いっぱい、小学校の時は「うさぎ狩り」というので学校から高学年になったら行ってました。食料がなかったので兎を捕まえて、帰ってきて給食の中に入れてたりとか。食べるもんは給食って一応パンはありましたけど、薫が入ってるようなパンやったし、牛乳も粉？ なんとか言いますね、コテコテの脱脂粉乳やね、そういうの食べさせられてましたけど。</p> <p>もう外遊び。路地でかくれんぼとか石蹴りとか一段飛びとか、もう1日夕方暗くなるまで、（年齢が）上から下まで、ヨチヨチ歩きの子はお兄ちゃんが抱っこしながらみんな（遊んでた）。今はそういうのがないからね。昔はもう思い切り出来てたけど。</p> <p><u>坊野さん</u>                      まあ、今となったら良かったですね。                      こころ辺もどンドン拓けてきたし、街も大きくなったし。</p> <p><u>ナレーション（坊野さん紹介）</u>                      最後は、坊野由紀男（ぼうの ゆきお）さん 80歳。                      20代に宮崎県から吹田に移り住みました。                      吹田の激動の変化を見てきた人物です</p> <p><u>坊野さん</u>                      昭和42年ぐらいちゃうかな、吹田のニュータウンに新築住宅で当たってそれでこっちに来たんです。うちらが来た時は何にもなかったからね。雨が降った時は長靴履いてきて南千里まで出てきよったからね。ドロドロでコンクリもしてないから。増築中だったんです。最初は「ホクサンバスオール」いうかね。ああいうのに入ってたんですわ。最初入った時は43年の頃は（お風呂が）なかったからね。ホクサンバスオールを入れとったんです、炊事場に。ほんでお風呂に入ってたんです。</p>

TIME	内容
	<p>万博には何回か行きました。阪急電車で。 まだ今の中国自動車道が電車走ったからね。万博までは。 万博終わってから廃止になったけどね。 今その竹見台に高層ビルがあるんですけど、あそこに（万博で）出張してきた 外人がようけおったからね。うちもソ連の人とある人から紹介されて知り合いに なって、何回も一緒にその寄宿舍に行きましたわ。 大阪の港、南港にソ連の船がついとったからね、お客を積んできて。 その船にも乗りましたわ。</p> <p>ええ街です。吹田はもう離れたくないです。 便利はいいしね、今はね。もう全然何にも悔いはないです。</p>

TIME	内容
	<p><u>ナレーション</u></p> <p>このコーナーは吹田市80周年記念イベントのために集結された若手職員6人が、街の魅力を発信するため取材したスポットを自ら紹介するものである！ 題して「若手職員の吹田魅カスポット紹介！！」</p> <p>田村： さあ、というわけで岸辺駅前にやってきました。 “魅カスポット”を紹介してくれるのは？</p> <p>田中： 田中です</p> <p>藤井： 藤井です</p> <p>田村： よろしくお願いします。 さあ、今回どのような魅力を紹介してくれるんでしょうか？</p> <p>田中： もう一目瞭然だと思んですけど、ここ岸辺駅がガラッと変わりました。</p> <p>田村： ほんと変わりましたよね。</p> <p>田中： こちらが昔の写真になるんですけど。</p> <p>田村： うわ～懐かしいな。</p> <p>田中： 今となってはバリアフリーの駅に生まれ変わってます。</p> <p>田村： えっ、でもこれ向こう側の話やもんね。</p> <p>田中： そうなんですよ。よくご存知で。</p>

田村：

もちろん！

田中：

さすがですね。

田村：

住んでたからね。

田中：

昔はこういうふうに南北が分断されていた印象があったのかと思うんですね。  
今はもう南北の連絡橋ができて分断されていたのがちょっと融和されたかなと。

田村：

確かにそうですね

わかりました。さあそれではズバリこの魅力スポットを教えてください。

藤井：

こちらの魅力スポットはズバリ「健都」です。

### ナレーション

そう、岸辺駅周辺に広がる健康医療都市「健都」。

かつては吹田操車場だった跡地を再開発し、「健康・医療」をコンセプトとした町へとリニューアル！

ここには国立循環器病研究センター、市立吹田市民病院をはじめとした施設が誕生し、町全体で健康づくりを進めてるんやって。

### ナレーション：

ということで若手おすすめ、病院だけじゃない健都“魅力スポット”へ！

まずはこちら、ピエラ岸辺健都。

健都クリニックモールは市民がかかりつけにできる病院や薬局が集まっていてとっても便利。さらに飲食店にも健都ならではの仕掛けが。

藤井：

一つオススメがあるんですけど。

田村：

おお、なんででしょうか？ にやけましたね。

TIME	内容
	<p>藤井： はい。「キッチンKENTO」さんってご存知ですか？</p> <p>田村： キッチンケント、知らないです。ケントデリカットしか知らないです。</p> <p>藤井：あの…、</p> <p>田村： スルーしすぎやろ！ソーシャルディスタンスがすぎるやろ！</p> <p>藤井： 国循さん特有のお料理屋さんがあって、塩分を控えめにしたりだとか体に良い食材を使った定食をやっているというお店があるんです。</p> <p>田村： なるほど。レストランも普通のレストランじゃなくて健康に気を使ったレストランがあると。</p> <p>藤井： そうですね。</p> <p>田村： すごいね。ピエラの中まで来て欲しいね。</p> <p><u>ナレーション</u> さらに健都には健康になれる今注目の公園があるんだとか！</p> <p>それがこちらレールサイド公園の中にある「健康増進広場」 ここには国立循環器病研究センターと市立吹田市民病院の監修で作られた健康遊具を設置。その中でも若手2人のオススメ遊具がこちら！</p> <p>田村： 足つぼやん。なんか笑ってると思ってん、俺。</p> <p><u>ナレーション</u> 健康快道と名付けられた足つぼコース。実は？！</p>

TIME	内容
	<p>遊具スタッフ： 健康になるためと、その日の調子を見るためにも使っただけなら。</p> <p>田村： なるほど。「今日調子ええわ」とか「あかんわ」とか言うのもわかると。</p> <p>遊具スタッフ： そうですね。</p> <p><u>ナレーション</u> ということで、足つぼで体調チェック！！</p> <p>田村： あ～！もう痛いよ！いきなり痛っ！あ～！痛い痛い痛い痛い このゾーンやばい！このゾーンやばい！ 痛い痛い痛い痛い痛い痛い痛い 痛い～～！</p> <p>田中： いまどこに効きましたか？</p> <p>田村： え～！？ どこに！？ えーっとえーっと、脳！</p> <p><u>ナレーション</u> 敢え無く終了。</p> <p>田中： どうでしたか？僕らのおすすめスポットは？</p> <p>田村： あなたたち2人のことを大嫌いです。</p> <p>田村： さあ、続いては阪急吹田駅前にやって参りました。 そして若手職員さん達はこの方々です。お願いします。</p> <p>菊池： 菊池です。</p>

和田：

和田です。よろしくお願いします。

田村：

それでは、お二人のおすすめスポットを教えてください。

菊池：

それはこちら！メイシアターです！

田村：

でしょうね。こっち側に来たってことは、市役所かメイシアターしかないもん。

ナレーション

さてお次は改修工事が終わったばかりのメイシアター。  
その魅了スポットとは？

菊池：

まずこの広場なんですけども、リニューアルしたことによってメイシアターの  
外観が見えるようになりました。

田村：

確かにメイシアターって見えてなかったよね。  
今までどうなってたんやったっけ？

菊池：

今まで木が生い茂っていて…。

和田：

ここまで外観がはっきり見えることはなかった。

田村：

自然が多いのは良かったけど、せっかくこんな素敵な外観が見えてなかったんや。

ナレーション

リニューアルした「いずみの園公園」は、今後はイベント会場としても  
使われる予定なんやって～。

和田：

田村さん、こちらの階段は何か思い出はありますか？

TIME	内容
	<p>田村： いやまあそうね、成人式できたからここに溜まっていたよ、成人式の時。</p> <p>和田： そうですね。私も当時成人式でみんな…。</p> <p>田村： 吹田市民？</p> <p>菊池： 私もです。</p> <p>田村： 私も？ああそう。 メイシアターでやってるか、万博のところで（やってるかで） ちょっと世代がわかるよね。</p> <p><u>ナレーション</u> ということで、リニューアルしたメイシアターの若手一押しスポット、 大ホールへ！</p> <p>和田： 田村さん、ぜひ新しくなった大ホールをご覧ください。</p> <p>田村： うわ～！何年振りやろ。うわー！綺麗！</p> <p>菊池： ここのシートも全て綺麗になったんです。</p> <p>田村： そやね、もっと暗かったよね。</p> <p><u>ナレーション</u> このシート、吹田市の花「さつき」をイメージしてるんやって。 ほかにも背もたれが薄くなって、シートの間隔が広がったんやで。</p> <p>和田： 田村さんシート以外にもですね、一番のポイントが音響設備となっております。</p>

田村：  
音響？へえ～！

ナレーション

天井や音響反射板が新しくなって、どの席にいてもいい音で鑑賞できるようになったんやって。  
なんと日本音響家協会が選ぶ「優良ホール100選」にも選ばれてるんやって。すごいやん。

田村：  
お～！いいなあ。いいキャパやなあ。ハ・ハ・ハ。  
やっぱり声の響き方がすごいね。これ。ここでオーケストラとか観てみたいな。感動するやろね。

ナレーション

せっかくなので、ステージから思いの丈を叫んでもらしましょう！

田村：  
後藤市長の好きなところを…。

和田：  
スポーツ万能なところが好きで～～す！

菊池：  
若手も応援してくれるところが好きで～～～す！

田村：  
2人ともアホみたいやで。

菊池：  
じゃあ、田村さんも。

田村：  
いいですか。  
ジャルジャル後藤のお父さんのところが好きだ～！  
ありがとうございます。ああ、やっぱり気持ちいいね！

TIME	内容
	<p>田村： さあ、続いてのスポットを紹介してくれるのはこの2人でございます。</p> <p>北垣： 北垣です。</p> <p>杉本： 杉本です。よろしくお願いします。</p> <p>田村： さあ、こちらはこういった場所でしょうか？</p> <p>北垣： こちらがくわいを育てている平野ファームさんです。</p> <p>田村： はい、御存知でございます。</p> <p>杉本： 実は私たちも去年の冬、こちらの平野農園でクワイの収穫を体験させていただきました。</p> <p>田村： やったんや！食べた？</p> <p>杉本： いただきました。素揚げにして。</p> <p>田村： うまいよね～。</p> <p>杉本： 美味しかったです。</p> <p>田村： ということで、ここにはクワイの全てを知っているあのお方がおられますもんね。</p> <p>2人： はい。</p>

TIME	内容
	<p>平野： こんにちは。</p> <p>3人： どうも～。</p> <p>平野： いつもお世話になっております。</p> <p>田村： こちらこそお願いします。お元気そうで。 今日はクワイではなく吹田市80周年ということで来てるんですよ。</p> <p>平野： あれ?! 田村さん、僕80歳。</p> <p>田村： えっ! 吹田市と同級生! そして吹田のクワイを作ってくれてる! もう完璧や!</p> <p><u>ナレーション</u> 何はともあれ、まずは平野ファームの吹田くわいを見せてください!</p> <p>平野： サンプル用で作ってるものなんですけどねんけど。</p> <p>田村： サンプル用?</p> <p>平野： このような状態が今の状況です。9月に入りますと花が終わりますして。</p> <p>田村： ギリギリ花が残っているんですか?</p> <p>平野： 花残ってます。</p> <p>田村： すごい! こんな可愛い花がつくんや!</p>

平野：

11月中旬から収穫を始めてお正月前までが収穫期。  
そして正月から食べていただく旬のものとなるんです

北垣：

吹田のための平野さんです

田村：

ほんまや。吹田の神です、銅像作りましょ。

ナレーション

平野ファームはくわいだけでちゃうで。  
若手2人のオススメは都会では貴重な農業体験。

田村：

やってみていいですか？

平野：

やってください。お願いします。

ナレーション

今回はなにわの伝統野菜「難波ネギ」の植え付けを3人が体験。

田村：

指でちょっと入れて。

平野：

3本根っこを持って、根の深いところを持って。

田村：

こんなもん？

平野：

そう。そうそう。

田村：

これでいい？

TIME	内容
	<p>北垣： しっかり育て欲しいですね。</p> <p>田村： 平野さん、これ大事ですよ。</p> <p>平野： 大事ですね</p> <p>田村： こういう思いを持ってね。</p> <p>平野： 苦勞を自分でこなしてきた人は本当の味をわかることができるんやけど、人の作ったものではね、本当の良さはわかりませんからね。</p> <p><u>ナレーション</u> 平野ファームではこうした農業体験を幼稚園から大学生まで受け入れてるんや。都会ではすごい貴重な場所なんや。</p> <p>田村： 今日一日80周年ということで、いろんな吹田のおすすめスポットを回ってきまして、平野さんというね、人柄も含めて愛に触れられた気がします。平野さんも吹田市も益々元気で栄えていきましょう。今日は一日ありがとうございました。</p>

TIME	内容
	<p>田村：                      メイシアターの方へやって来ました。今、メイシアターの中で                      こんなやってるんですね。「あなたにとっての吹田展」ということで。</p> <p><u>ナレーション：</u>                      ここメイシアターでは、吹田に関わりのある著名人からのメッセージや                      市民のみなさんから頂いた80周年フォトメッセージが展示されています。                      そして…。</p> <p>田村：                      はい、出ました！著名な私。                      様々な分野で活躍されている著名な皆様の1人です。ねえ～。                      そして、吹田といえば葉加瀬太郎さんを生んだ街ということで、                      葉加瀬さんが作曲してくださいました「Home Suita Home」。                      本当に80年の歴史を感じるような重みのある曲で良い曲ですね。</p> <p><u>ナレーション：</u>                      それでは聞いていただきましょう。葉加瀬太郎さんで「Home Suita Home」                      中村佑介さんのイラストと、市民の皆さんのフォトメッセージと合わせて                      お楽しみください。</p> <p>議長メッセージ：                      吹田市議会議長の木村裕でございます。                      吹田市制80周年を皆様と共に迎えられたことを大変嬉しく思っています。                      行政による施策展開だけではなく、市民の皆様による教育、福祉、環境                      あるいは様々な文化活動、スポーツ活動を始めとして、                      より領域の広い社会経済活動があって、市民の皆様方のお支えがあって                      初めてこの良い吹田の街があるわけでございます。                      これまでのご尽力に対しまして、深く感謝を申し上げたいと思っております。                      市議会といたしましては、先達から受け継いだこの吹田の街を中核市に相応しい                      より魅力的な街づくりのために鋭意に努力してまいりますので、                      皆様方の更なるお力添えをよろしくお願いを申し上げます。                      結びになりますが、吹田市の未来が輝かしいものになることを                      ご祈念申し上げ、また皆様方がご健勝でご活躍されることを                      心よりお祈り申し上げて80周年のメッセージとさせていただきます。</p>

市長メッセージ：

吹田市民の皆さん、吹田市制80周年を迎えました。おめでとうございます。  
「おめでとうございます」というのは、これまで長年に渡って様々な人が  
バトンを繋いできて今日がある。それを共に喜びたいという気持ちからです。  
では、ここから10年20年先、どうなるか？ そのポイントは、  
市民のみなさんお一人お一人がこの吹田市をどういう街にしたいのか、  
どういうところで住みたいのか。その想いを行政がしっかりと受け止めて、  
福祉に、街づくりに活かしていくこと。それが我々の責任だと思っております。  
「吹田に住んでよかったな」「ここで子どもを育ててよかったな」  
と実感できる街をこれからも目指していきたい。そのように思っています。  
コロナに負けずに吹田の未来を見据えていきたいと思えます。  
どうぞよろしくお願いいたします。おめでとうございます。

TIME	内容
	<p>田村：</p> <p>さあ、あっという間にエンディングでございます。いかがだったでしょうか？この吹田の80年の歴史、全て知ってるという方もいらっしゃるかもしれませんが、きっと知らない事実がたくさんあって興味深い回になったのではないのでしょうか？</p> <p>こうやって今、エンディングで締めてるんですけど、そんなことよりも僕が初めて付き合った彼女がこの辺出身の子なんですよ。</p> <p>あの子が今幸せなのかどうなのかが気になってしょうがないというね。</p> <p>すいません。気が気でないエンディングとなっております。</p> <p>というわけで、本当に元カノも含めてみんなに幸せがありますように。</p> <p>そして、今後もこの番組ご贖員にお願いいたします。</p> <p>それではまた次回お会いしましょう。さようなら。</p>